

山崎地区大規模雨水処理施設整備事業計画（島本町）

（様式１）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>島本町では平成２４年に局地的な集中豪雨に見舞われ、山崎地区でも豪雨による土砂崩れや、家屋への浸水等の被害が発生した。このため、浸水被害のあった地域を優先し、雨水幹線整備を進めているところである。</p> <p>山崎ポンプ場は、平成元年より供用開始しているが、前述の集中豪雨等に対応するため、現状２基の雨水ポンプを３基に増設することで排水機能を増強し、浸水被害の解消を図る。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハード整備による整備水準の目標は48.4mm/h（1/10確率降雨）とし、これを上回る降雨に対してはソフト対策、自助を推進する。降雨確率年の設定については、島本町淀川右岸流域関連公共下水道事業計画における計画降雨とした。 <p>②目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備により 48.4mm/h（1/10 確率）の降雨において浸水被害を解消することを目的とする。 <p>③ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <p>i)ハード対策</p> <p>施設整備により 48.4mm/h（1/10 確率）の降雨において浸水被害を解消することを目的とする。</p> <p>ii)ソフト対策及び自助</p> <p>施設整備で対象とする降雨量を上回る既往最大降雨 111mm/h（平成２４年８月）の降雨において、下水道管理者による内水ハザードマップ作成・公表等の情報を提供し、被害をできるだけ小さくする。</p>

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	・ 有 (令和4年3月策定済み)			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 山崎雨水ポンプ増設 排水能力 216m3/分
			下水道管理者以外	該当なし
		ソフト対策	下水道管理者	・ 内水ハザードマップの作成・公表
			下水道管理者以外	該当なし
	自助	ハード対策		
		ソフト対策		

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

- * 下水道浸水被害軽減総合事業の要件に該当し、当該事業による制度拡充に当たる施設の整備を実施する場合には、該当する施設をすべて記載すること（別紙可、下水道浸水被害軽減総合事業の様式を参照）。なお、下水道浸水被害軽減総合計画を策定済みの場合は、その施設調書を添付すること。
- * 下水道総合地震対策事業の要件に該当し、当該事業による制度拡充に当たる施設の整備を実施する場合には、該当する施設整備を下水道総合地震対策計画に位置づけること。
- * 下水道施設の改築（浸水に対する安全度の向上を伴わないもの）を実施する場合には、当該施設の改築を下水道ストックマネジメント計画に位置づけること。（下水道総合地震対策計画に位置づけられている場合を除く）

年度計画（百万円）

名称	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
山崎ポンプ場	255	648	711	1,614
計	255	648	711	1,614

備考）事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。

整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<p><事業評価の内容></p> <p>浸水被害の軽減便益：32,700百万円が削減される。</p> <p>B/C：1.7</p> <p>経済的内部収益率：9.5%</p> <p>ソフト対策、自助の整備効果等：</p> <p>内水ハザードマップによる情報提供等により、浸水被害の軽減を図る。</p>
放流先河川との調整状況	
その他	

(参考図面) 山崎地区
大規模雨水処理施設整備事業計画図
(1/5,000)

